

平成21年第2回周南市議会定例会一般質問通告一覧表

(平成21年3月4日～9日)

1 得重謙二(刷新クラブ)

1 青少年の健全育成について

- (1) 工場見学を通じた勤労意欲の高揚
 - ア 遠足や課外授業の意義・方針は。
 - イ 近隣企業とタイアップした工場見学の推進を。

2 小・中学校の統廃合再配置計画について

- (1) 統廃合再配置計画の基本方針は。
 - ア 計画に対しての進捗状況は。
 - イ 今後の具体的なスケジュールは。

2 坂本心次(顕政会)

1 めくもりのある地域の景気浮揚対策について

- (1) 中山間地域振興室の役割は。
- (2) 雇用対策を絡めた農林水産業の振興をどう考えるか。
- (3) 農地・水・環境保全対策の成果を問う。
- (4) 耕作放棄地の発生防止と農村景観の維持について、課題と今後の取り組みは。

3 立石 修(顕政会)

1 市内都市計画区域における都市計画税の取り扱い

- (1) 都市計画税に対する市の基本的な考え
- (2) 徳山・新南陽都市計画区域
 - ア 納税義務者の人数
 - イ 年間納税総額
 - ウ 一人平均納税額
- (3) 熊毛都市計画区域における都市計画事業について
 - ア 合併から20年度末までと今後10年間の主な事業内容と事業費の総額
- (4) 熊毛都市計画区域においても受益者負担、公平性の観点から、都市計画税を課すべきではないか。

2 公共下水道整備

- (1) 平成21年度以降の市全体の公共下水道整備計画
- (2) 新南陽・和田地域(三作地域及び大谷・馬神)の公共下水道整備計画

3 浸水対策

- (1) 福川地域JR山陽本線から南側(新地町・西榊町・御姫町・西新地)の浸水対策について
 - ア 4地区個々に浸水対策ができないか。
 - イ 御姫町の一部においてたびたび床下浸水するが、その対策を早急にすべきではないか。

4 小林雄二(刷新クラブ)

1 公務員の雇用任用形態と継続性について

- (1) 本市における正規職員、臨時・嘱託・非常勤職員の構成比と望ましい構成割合についてはどうか。
- (2) 今後における臨時・嘱託・非常勤職員の雇用任用方針について問う。
- (3) いわゆる雇いどめは生活に大きく影響する。雇用についての継続性についてはどうか。

2 環境基本条例及びその第18条（経済的措置）に関して

- (1) 条例のいう環境負荷の低減に向けての施策の展開が求められるが、新年度の特長的なものは何か。
- (2) とりわけ、既存施設及び改築・新築施設においての新エネルギー導入という一貫した姿勢が重要であり、施策展開の柱としてほしいがどうか。
- (3) 住宅用太陽光発電システムへの経済的支援を行うことによるCO₂削減への施策普及に資することはできないか。

3 デジタル放送移行（2011年7月24日予定）の理解度と対応について

- (1) 本市における状況と受信機普及率はどの程度と把握されるか。
- (2) ケーブルテレビ及びその他の受信方法における受信側・発信側の問題点と導入における相談体制（悪質商法対策含む）はどうか。
- (3) 移行の際における補助制度といったものは検討されているのか。

5 長谷川和美（至誠会）

1 新型インフルエンザ対策について

- (1) 予防対策の現状と課題は。
- (2) 緊急時の本市の取り組みは。

2 「限界集落」を救うため集落支援員制度の積極的導入を

- (1) 本市の「限界集落」の状況は。
- (2) 集落支援員制度とは何か。
- (3) 制度導入の方向性と問題点は。

3 徳山出身の詩人「まどみちお」生誕100年の記念事業にどう取り組むか

- (1) 「詩人まどみちお」とは。
- (2) 徳山出身の偉人を市民に広く周知させるための対策は。
- (3) 記念事業計画案と将来の方向性は。

6 岸村敬士（新政会）

1 旧徳山市北部に須々万を中心にコミュニティバスを運行できないか

- (1) 旧徳山市北部は須々万が経済の中心になっている。そこで、高齢者の利便性を考え、コミュニティバスを運行できないか。なお、須々万～徳山間は防長バスを利用する。19年度決算で旧徳山市北部の防長バスへの補助金は「徳山～須金」は市の補助が往復で1,088万2,000円「徳山駅～大道理横川」は市が312万7,000円（うち県の補助金が132万5,000円）で総合計は1,400万9,000円である。また、学校の統合によるスクールバスも経費がかかり併用すれば十分可能である。

2 定額給付金にあわせプレミアム（割り増し）つき商品券を発行したらどうか

- (1) 定額給付金は貯蓄になる可能性が非常に高く、市場の活性化のためには、プレミアム商品券をあわせて発行することが必要だ。県内では防府市、山口市などは発行する予定で、島津市長も検

討しているとの報道があったが、大変だろうがぜひ検討すべきだ。

3 レジ袋有料化について

- (1) 今年4月から、山口県内のスーパーの大半がレジ袋の有料化に踏み切った。そこで、本市も市内業者すべてにレジ袋の有料化を指導できないか。

4 児童、生徒の携帯電話の学校持ち込み禁止について

- (1) 文部科学省は、携帯電話の小中学校への持ち込みを原則として禁止する通知を出した。
ア 本市の状況はどうか。
イ 文科省に合わせ学校持ち込み禁止をすべきではないか。

5 研究指定校を視察し、必要性について

- (1) 住吉中学校が学校運営協議会（コミュニティスクール）のモデル校となり、地域と連携し、生徒たちも率先してボランティア活動に参加するなど素晴らしい効果を上げている。さらには大変落ち着いている。市内全校に広げるべきだ。
- (2) 富田西小学校が「学校図書館活用推進研究事業」研究指定校になり、成果の発表があり見学した。素晴らしい成果があり、昼休みの図書館は児童でいっぱいだった。
ア 司書（学校図書館指導員）の必要性を改めて感じた。すべての学校に十分配置できないか。
イ 司書（学校図書館指導員）の募集に際し、給料が余りにも安いと思うがどうか。（募集名は学校図書館活用推進委員）

6 公民館のパソコンが古すぎる。新しくできないか

- (1) 他公民館は不明だが、須々万公民館のパソコン教室にあるパソコンは「ウインドウズ98」である。余りにも古い。新しくするべきだ。

7 米沢痴達（顕政会）

1 徳山駅周辺整備事業について

- (1) 市長のマニフェストには、徳山駅周辺整備計画を大胆に見直し昨年3月には予算措置を含めて修正案を示すとあるが、今現在何も示されていない。この1年間の失われた時間は、合併特例債の期限が迫る中、大変な損失であるが市長はどう認識しているか。また修正案を示すことのできなかった要因は何か。
- (2) マニフェストに掲げた大型商業施設の誘致について否定的な見解を示し、元の計画へ路線変更を図ろうとしているようにも見えるが、その経緯について市民に納得のいく説明を求める。
- (3) 身の丈にあった駅周辺整備を進める旨の市長発言があったが、身の丈にあった駅周辺整備とは市長はどんな構想を描いているのか。
- (4) 駅周辺デザイン会議を6カ月間で3回開催し、基本計画を策定することだが、民意はいかに酌むのか。
- (5) 駅周辺整備は合併特例債が充当できる残り4年間ですべての事業を終了させる考えか。

2 周南市の経済情勢と施策について

- (1) 周南市の経済情勢をどう認識しているか。また市内での派遣切り等による離職者の実態と今後の推移は。
- (2) 市としての支援策は。
ア 中小企業対策について
イ 離職者対策について

- (ア) 住宅について
- (イ) 生活支援（生活保護、就学）について
- (ウ) 雇用促進について

3 ツル保護対策について

- (1) 生物多様性基本法制定を受けての取り組みは。

8 反田和夫（公明党）

1 周南市の中小零細企業への支援と雇用対策について

- (1) 周南市の中小零細企業の実態にどのような認識を持っているのか。
- (2) 若者の定住、定着を図るための施策について
- (3) 若年（男、女）起業家が創業する体制と支援について
- (4) 周南市の資金融資制度等の周知、PRはできているのか。
- (5) 雇用対策として、今後どのように取り組むのか。
- (6) 周南市内の産業、企業等を知るため絵で見る総合案内板の設置はできないか。

2 災害時における要援護の災害対策について

- (1) 要援護者の対策をどの範囲までしているのか。
- (2) 要援護者登録申し込みを行っているが、現在何名の方が台帳に掲載されているのか。
- (3) 個人情報もあり対象外の人はどうするのか。
- (4) 自治会に加入せず、つき合いが疎遠な方への対応は。
- (5) 災害弱者に対する防災ハンドブックの作成はできないか。

3 小規模公園における防災拠点について

- (1) 公園は災害時、避難場所としての利用も想定されるが、今後、防災整備をどのように考えているか。
- (2) 災害時一時避難地に指定されることも想定されるが、貯水槽の設置また食料や毛布などの備蓄倉庫の設置の考えはあるか。
- (3) 大規模災害に備え、避難誘導標識の設置はできないか。

9 長嶺敏昭（参輝会）

1 遊休市有地の利活用

- (1) 売却も含め重点的に利活用が考えられる市有地はどこで資産規模はどのくらいあるのか。
- (2) 事業展開によりこれから遊休地になる可能性がある市有地があるのではないか。
 - ア 駅ビル整備により市民館の土地・建物
 - イ 学校の統廃合による校舎・グラウンド
- (3) インセンティブが受けやすい政策は機構配置を変更し、遊休地の捻出、利活用または売却ではないか。
 - ア 港町庁舎の改修による機構配置
 - イ 県総合庁舎の利用状況から間借りによる機構配置と遊休地の捻出

2 「コアプラザかの」の今後

- (1) 鹿野地域だけでなく広く市民に利用していただける施設としての位置づけが必要だ。
 - ア 周南市の行事や会議の定期的開催を望むがどうか。
 - イ 周南市所蔵美術品の移動展覧会の開催など。

- (2) 地元経済にも有益になるスポーツ合宿などの宿泊機能やコンベンションやバンケットへの利用の道筋、手続を早急に進めるべきだが。
- (3) 鹿野国保診療所へ眼科、耳鼻科、皮膚科などの専門医の巡回診療を早急に実施し、小さくても総合病院を目指す地域医療の充実を図るべきだがどうか。
- (4) 劇場部分などの一部を残して閉鎖となる鹿野公民館のピンポイント改修を急ぐべきだ。
 - ア 音響装置、演劇用照明、いす
 - イ 住民から要望の強い葬儀ができる施設はわずかな改修費以外は市の持ち出しがゼロの公民館1階の会議室・和室で。

1 0 土屋晴巳（新政会）

1 社会福祉士の人材活用・任用について

- (1) 権利擁護に関する相談体制と相談件数は。
 - ア 高齢者に関する相談体制と相談件数
 - イ 子供（乳幼児含む）に関する相談体制と相談件数
- (2) 社会福祉士の配置状況は。
 - ア 福祉事務所や教育委員会に配置されているのか。
- (3) 社会福祉士及び介護福祉士法等の一部改正（2007年12月5日公布）により福祉事務所に於いて社会福祉主事から社会福祉士の配置が進むものと考えられるが、市の考えは。
- (4) スクールソーシャルワーカーの配置について、市として積極的に取り組んでみては。

2 「桑原不燃物処分場」の位置づけと名称変更について

- (1) 「桑原不燃物処分場」設置に関する条例はないが、この施設の位置づけは。
- (2) 名称変更はできないか。（なぜ、地区名なのか）

1 1 清水芳将（新政会）

1 中心市街地の整備計画

- (1) 徳山駅周辺デザイン会議の素案について
- (2) デザイン会議で検討している項目についての今後のスケジュール
- (3) 徳山駅周辺整備事業全体の今後のスケジュール

2 周南市の観光資源

- (1) 周南市の歴史教育という観点からも市長公舎と徳山藩の墓所を有効活用すべき。
- (2) 所在看板と墓所への石段に手すりの設置を。

1 2 岩田淳司（参輝会）

1 周南市の救急体制について

- (1) 周南市における救急車の現場到着及び到着から患者を搬送し医療機関に収容するまでの時間はどれくらいであるか。これは過去の実績から比べ短縮されているか。
- (2) 周南市では全国でいうところの受け入れ拒否の問題は耳にしたことはないが実際のところはどうか。問題解消のための有効なリレーは準備されているのか。
- (3) 救急車の適正利用について、消防本部の取り組みはどうか。
- (4) 2010年度中に県が配備を計画しているドクターヘリについて
 - ア ヘリ到着地の選定は重要であるが、どのような場所を候補地として考えているのか。具体的

な候補地はどうか。また、市としての整備の考え方は。

イ 救急現場でヘリを要請すべきかどうかの判断力が求められる救急隊員のスキルアップが必須と思われるがその取り組みはどうか。

2 地域ぐるみで「ラジオ体操」の推進を

- (1) きちんと体操できない子供のために体育の授業にも取り入れてみてはどうか。
- (2) 地域のお年寄りに体操の指導者になっていただき、子供のためだけでなくお年寄りの生きがいづくりや健康維持に結びつけていただくよい手法はないか。

1 3 田中和末（刷新クラブ）

1 指定管理者制度について

- (1) 指定管理者制度が導入され3年が経過し、指定管理施設の約4割が指定管理期間の満了となる。制度の総括が必要と考えるがどのような総括がなされているか。
- (2) 指定期間の見直しや事業の見直しの検討が必要な施設は。また、今後の課題は。

2 一般国道2号周南立体事業に関連して

- (1) 周南市内の慢性的な交通渋滞、交通安全の確保に向けて事業が実施されるが、市が把握している今後のスケジュールは。また、それに対する市の対応は。
- (2) 地域住民の生活環境の変化や懸念される問題点とその対応は。
- (3) 国道2号開通時の区画整理事業や土地評価、交通量増加による公害等、当時の諸課題と今回の事業との整合性について、理解がいく説明、対応が必要ではないか。

3 リフトつきワゴン車貸し出し事業について

- (1) 老朽化等により貸し出し事業を廃止する方向と聞くと、それにかわる事業は。

4 体育施設の使用について

- (1) 新南陽球場などの体育施設のスポーツ少年団や部活動の使用について、使用回数が制限されているが、使用回数の見直しやあいているときは使用できるようにするなど改善すべきではないか。

1 4 金井光男（公明党）

1 国における平成20年度第2次補正予算関連の交付金・基金などの活用について

- (1) 定額給付金について
 - ア 2月1日「定額給付金室」が立ち上がったが、準備の進捗状況は。
 - イ プレミアムつき商品券発行のための本市の対応策について
- (2) 地域活性化・生活対策臨時交付金の活用計画について
 - ア 実施計画の内容
- (3) 介護従事者処遇改善臨時特例交付金について
 - ア 介護報酬プラス3%改定に伴う、本市における平成21年度からの第4期介護保険事業計画への影響は。
- (4) 障害者自立支援対策臨時特例交付金の活用計画について
- (5) 安心こども基金の活用計画について

1 5 吉平龍司（公明党）

1 市長の市政運営

- (1) 景況変化に対しての行財政改革と運営指針

2 子育て支援への対応

- (1) 妊婦健康診査補助と出産育児一時金の充実
- (2) 小児救急電話相談「シャープ8000番」の現況と活用推進

3 救急医療体制

- (1) 本市における救急医療の現状は。
- (2) 県のドクターヘリ導入への本市諸課題

4 地球温暖化対策とまちづくり

- (1) エコポイント制度導入の取り組みは。
- (2) 市民節電所事業等の理解拡大への周知とPR

16 青木義雄（参輝会）

1 指定管理者制度

- (1) 多数の指定管理者が平成21年3月31日で3年間の指定管理期間を終える。指定管理者制度導入期（第一期）と位置づけて、この制度の総括検証をすべきであると心得て以下を問う。
 - ア 管理経費の軽減は図れたのか。
 - イ 住民サービスの向上は図れたのか。
 - ウ 指定管理者の経営努力による利益は出たのか。
 - エ これまでの課題や反省点は何か。それは第二期にどのように反映されるのか。
- (2) 未曾有の不況とそれに伴い地域経済は疲弊している。指定管理者制度を地域民間事業者からビジネスチャンスとして少しでも参入しやすい工夫はできないか。

2 スポーツ行政

- (1) 周南緑地スポーツ公園を山口県東部随一の総合スポーツ施設と位置づけての整備をすべきであり、それには陸上競技場のトラック整備は不可欠と心得るが、見解を問う。
- (2) 南陽工業高校の甲子園出場の祝い金を出されると思うが、そのことは大賛成で活躍を心から応援する。一方、他の高校生の全国大会出場についての祝い金は現状が妥当なのか、見解を問う。
- (3) 小学校から中学校へスムーズに競技が継続できるシステムづくりにどのように取り組まれているか。
- (4) 子供のスポーツ指導者は競技知識経験以外にも児童心理や発達などにも十分精通していることが望まれるが、そのような指導者養成に取り組まれているか。
- (5) 総合型地域スポーツクラブの育成はどのような状況なのか。今後の方向性はどうか。

17 炭村信義（民主の会）

1 自治体公契約条例について

- (1) これまで周南市の業務契約が価格のみに重点が置かれた価格入札であった。周南市が求める社会的価値に重点を置いた政策入札に切りかえるときに来ている。そのために公契約条例の制定はできないか。

18 高松勇雄（民主の会）

1 耐震対策について

- (1) 小中学校の耐震補強対策の進捗状況は。
- (2) 市役所を含め公共施設の耐震対策の状況は。

(3) 合併特例債で耐震補強の一括着手を。

2 駅周辺開発について

(1) 駅周辺開発の進捗状況は。

(2) 市役所や総合病院等の公共施設の建設はあわせてできないか。

3 食育について

(1) 市民に対して現状の給食を試食提供できる「給食まつり」の開催を。

4 新南陽市民病院の運営について

(1) 厳しい事業運営の現状を打破する対策案は。

(2) 救急搬送の受け入れ数と救急医療管理加算についての実数は。

5 税や公共料金の適正徴収について

(1) 熊毛地区の上水道の計画とその進捗状況は。

(2) 熊毛地区の都市計画税の課税は。

(3) 税や公共料金の市内統一料金を設定・徴収して、所得のない子供たちが構成するスポーツ少年団・クラブ活動・地域子供会等青少年利用について全額免除にならないか。

19 井本義朗（周南会）

1 新学習指導要領の実施に向けて、市の取り組みについて問う

(1) 平成21年度から段階的に新指導要領の実施に向けての取り組みが始まるが、今後の移行期間から本実施に向けたスケジュールはどうなっているか。

(2) 新指導要領の実施に向けて、周南市独自の取り組みの予定はあるか。

(3) 新指導要領の中で、子供たちの「生きる力」をはぐくむため、言語活動や理数教育等の充実を図るために授業時間数の増加を予定しているが、市として学校がゆとりあるカリキュラムが組めるように、2学期制の導入を検討する考えはないか。

20 中村富美子（日本共産党）

1 病院問題について

(1) 全国各地で自治体病院の休止や閉鎖が相次いでいるが、病院の危機は地域医療の崩壊を招く。新南陽市民病院、鹿野診療所をいかに守り発展させるかが市の使命と思うが。

ア 公立病院改革プランを策定する目的は何か。

イ 新南陽市民病院の麻酔科医師の招聘はできないか。鹿野診療所の1名の医師不足を解消するための対応は。

ウ 医療公社（指定管理者制度）で問題点はないか。

エ 入院治療のための個室使用については、部屋代は徴収すべきでないと思うがどうか。

2 夜市の里芋等の生産拡充について

(1) 現状はどうか。（品種、生産、出荷量、収入、耕作面積、生産者人数等）

(2) 遊休農地の生産拡充の手だてはあるか。

(3) 積極的に市場に売り出す方策は。

(4) イノシシ対策の充実を求める。

21 小坂玲子（至誠会）

1 人間魚雷「回天」について

- (1) 小中学生に平和の尊さ、命の大切さを学ぶ教育の推進を。
- (2) バス賃、船賃の交通費等の助成は検討できないか。
- (3) 市民により深い理解を得るために観光ボランティアガイドとの連携はできないか。

2 港の玄関口ポートビルについて

- (1) 建物の老朽化が著しく、待合所やトイレ等に不備があるが、改善できないか。
- (2) ウォーターフロントとして、より多くの市民の憩いの場になる海の駅という施設になる可能性はないか。

3 映画による元気発信は図れないか

- (1) 本市の知名度アップ、地域経済の活性化に多大な効果が予測されるが、導入を検討してはどうか。

2 2 藤井直子（日本共産党）

1 東部道の駅

- (1) J A 1 0 0 円市を実証店舗に使うことについて、J A との協議の経過は。
- (2) 道の駅設置後の J A との連携は。

2 保育制度について

- (1) 国の進めようとする新たな保育制度には、次のような問題点がある。市はどう考えるか。
 - ア 保護者と保育所の契約になり、市の責任がなくなる。
 - イ 保育料が応能負担から応益負担になり、滞納すれば退所へ。
 - ウ もうけ第一で参入も撤退も自由な企業が参入してくる。
 - エ 子供の生活、発達を考えない時間単位の保育になる。
 - オ 保育士は時間単位の働き方になり、低賃金労働者になる。

3 施政方針について

- (1) 子どもを育む体制の充実
 - ア ゼロ歳児の全保育園での受け入れのための、公立保育園の保育士の配置、施設整備の現状と計画は。
 - イ 予算にどのように反映しているのか。
 - ウ その結果、保育士の配置は、正規職員で最低基準を満たしているのか。

2 3 形岡 瑛（日本共産党）

1 農業振興プランの提案

- (1) 農政課に専任の農業技術者を
 - ア 市内各地域の土壌に合った作物の研究
 - イ 農家と密着した農政に。
- (2) 農林事務所 O B 等を農業指導員として配置する。
- (3) 作り手である農家と連携する農産物の出荷作業チームの編成
- (4) 地元産品ですぐれたものを大都市に出す販売担当職員を配置する。
- (5) 児童生徒を生産に参加させ食育を充実させる。
- (6) 中心市街地に広場をつくり、市内及び周辺の産物等を扱う日曜市を。
- (7) 以上のことは「道の駅」とは独立して進める。

2 道の駅について

- (1) 再生戦略会議の答申どおりのものを目指すのか。
- (2) 実証店舗との関係は。
- (3) ワークショップでの取り組みはどう生かされるのか。

3 大津島ふれ愛スクールについて

- (1) 無事にスタートできそうか。
- (2) これまでの体験通学した子供たちの状況は。

4 熊毛の水問題について

- (1) 事業開始の目安は。
- (2) 給水単価の抑制のためどのような手法が考えられるか。
 - ア 合併特例債の活用は可能か。
 - イ 国の補助金は。

2 4 兼重 元（至誠会）

1 観光立市の実現

- (1) 市再生戦略会議の答申（2008年10月29日）では「地域づくり」を観光の基本ととらえ、官民協働を推進することが重要とあるが、観光立市に向けたこれからの観光政策（観光資源、観光インフラ）の具体的な取り組みを問う。
 - ア 工程
 - イ 推進体制
 - ウ 評価システム

2 5 田村勇一（新政会）

1 港湾整備の推進について

- (1) N7号埋立事業について
 - ア 進捗状況と完成見通しは。

2 環境施策の展開について

- (1) 環境基本計画の見直しにおける重点課題は何か。
- (2) 緑化活動の推進規模と内容は。

3 まどみちお先生の生誕100年記念事業について

- (1) 記念事業の一環として
 - ア 周南市の文化全国発信基地としての施設整備は。
 - イ 「まどみちおふるさと大志」の任命を。